視力1.0未満の子どもの割合が小学校で前年度より低下(35.9%) するも中学校(56.1%)、高等学校(73.1%)では上昇

令和6年度 学校保健統計調査結果(香川県分)

文部科学省から公表された令和6年度 学校保健統計調査結果のうち、香川県分をまとめたものです。

□調査の概要

学校保健統計調査は、幼児、児童及び生徒(以下「児童等」という。)の発育及び健康の状態を明らかにするために、 昭和23年度から毎年実施されている基幹統計調査です。

文部科学大臣が指定(抽出)した県内149校(幼稚園(幼保連携型認定こども園を含む。以下同様。)、小学校、中学校、高等学校)に在籍する5歳から17歳(令和6年4月1日現在の満年齢)までの児童等を対象に、令和6年4月~令和6年6月に行われた健康診断の結果をもとに調査を実施したものです。

□ 調査結果の概要

◆発育状態調査

◇身 長 (2ページの表1)

- ・前年度と比較すると、男子は14~16歳で上回って、女子は6,8,10~11,13~14,16~17歳で上回っている。
- ・全国平均と比較すると、男子の全ての年齢及び女子の6,11歳を除いた全ての年齢で下回っている。

◇体 重 (4ページの表2)

- 前年度と比較すると、男子は14,16歳で、女子は8,11,16歳で上回っている。
- ・全国平均と比較すると、男子は14~15歳、女子は6、8、11、13~14、16歳で上回っている。
- ◇肥満傾向児 (肥満度が20%以上の者) の出現率 (6ページの表3)
 - ・前年度と比較すると、男子は5,8,13~14歳で、女子は6,8,11~12,14歳で上回っている。
 - ・全国平均と比較すると、男子は6,8~9,13~15歳、女子は6,8~9,11~14歳で上回っている。

◆健康状態調査(11 ページの表 7)

◇裸眼視力1.0未満の者

- 前年度と比較すると、小学校では下回っているが、中学校、高等学校では上回っている。
- ・全国平均と比較すると、小学校、中学校では下回っているが、高等学校では上回っている。
- ◇むし歯(う歯)のある者(処置完了者を含む)
 - 前年度と比較すると、全ての学校種で下回っている(改善)。
 - ・全国平均と比較すると、幼稚園、小学校、中学校で上回っている。

□ 調査対象

					さ ナ 部 オ	· 上対象校			うち調査	查対象者	
	区	分		全学校数	ソり調査	11 外 豕 仪	全在籍者数	発育	状態	健康	状態
		777		(校)	実数	割合	(人)	実数	割合	実数	割合
					(校)	(%)		(人)	(%)	(人)	(%)
	合	計		454	149	32.8	98,962	12,904	13.0	63,509	64.2
	幼	稚	袁	190	31	16.3	4,627	989	21.4	1,245	26.9
内	/]\	学	校	154	57	37.0	46,448	5,452	11.7	27,716	59.7
訳	中	学	校	70	37	52.9	24,788	4,310	17.4	18,311	73.9
	高	等 学	校	40	24	60.0	23,099	2,153	9.3	16,237	70.3

※発育状態は、調査対象校の該当年齢の無作為抽出児童等が対象で、健康状態は、調査対象校の該当年齢の全児童等が対象である。
※学校数は、学校基本調査結果による。ただし、休校を除く。

■ 発育状態調査

【身 長(平均値)】

前年度との比較:男子は14~16歳で、女子は6,8,10~11,13~14,16~17歳で上回っている。(表 1) 全国平均との比較:男子の全ての年齢及び女子の6,11歳を除いた全ての年齢で下回っている。(表 1、図 1) 各年齢間の身長差:男子は11~12歳7.9cm、女子は9~10歳の間が7.9cmと最も大きくなっている。(図 2) 30年前(親の世代)の平成6年度と比較:男子は8~9,11~14歳で、女子は8,10~14、16歳で親の世代の値を上回っており、特に男子の12歳で1.7cm、女子の11歳で1.8cmと最も伸びている。(表 1、図 3)

表 1 年齢別身長の平均値

(cm)

				男		子					女		子		
区	分		令和	和6年度			平成6	年度		令和	□6年度			平成6	年度
	.)J	香川県		全 国		順位	香川県		香川県		全国		順位	香川県	
		Α	対前年度差	В	A-B	順位	С	A-C	Α	対前年度差	В	A-B	順心	С	A-C
幼稚園	5歳	110.0	△ 0.7	110.6	△ 0.6	46	110.4	△ 0.4	109.2	△ 1.0	109.6	△ 0.4	40	109.4	△ 0.2
	6歳	116.4	△ 0.3	116.7	△ 0.3	28	116.6	△ 0.2	115.8	0.4	115.8	0.0	19	115.8	0.0
	7歳	122.3	△ 0.2	122.6	△ 0.3	34	122.4	△ 0.1	121.1	△ 0.8	121.8	△ 0.7	43	121.6	△ 0.5
小	8歳	128.2	△ 0.1	128.5	△ 0.3	35	127.7	0.5	127.6	0.8	127.7	△ 0.1	26	127.3	0.3
学 校	9歳	133.5	△ 0.3	134.0	△ 0.5	38	133.2	0.3	133.1	△ 1.0	134.1	△ 1.0	46	133.5	△ 0.4
	10歳	138.6	△ 0.6	139.7	△ 1.1	44	138.6	0.0	141.0	0.4	141.1	△ 0.1	19	139.6	1.4
	11歳	145.1	△ 1.4	146.0	△ 0.9	45	144.7	0.4	147.9	0.8	147.8	0.1	16	146.1	1.8
中	12歳	153.0	△ 0.5	154.0	△ 1.0	46	151.3	1.7	151.8	△ 0.5	152.3	△ 0.5	40	151.4	0.4
学	13歳	159.6	△ 0.9	161.1	△ 1.5	47	158.9	0.7	154.9	0.2	155.0	△ 0.1	27	154.4	0.5
校	14歳	165.3	0.7	166.1	△ 0.8	42	164.6	0.7	156.1	0.4	156.4	△ 0.3	28	156.0	0.1
高	15歳	167.8	0.3	168.6	△ 0.8	41	167.9	△ 0.1	156.2	△ 1.2	157.1	△ 0.9	44	157.0	△ 0.8
高等学校	16歳	169.2	0.4	169.9	△ 0.7	40	169.6	△ 0.4	157.4	0.4	157.7	△ 0.3	25	157.3	0.1
校	17歳	169.5	△ 0.4	170.8	△ 1.3	45	170.2	△ 0.7	157.6	0.8	158.0	△ 0.4	33	157.7	△ 0.1

(注) は、全国平均を上回るものを示す。

図1 身長の全国平均値との差

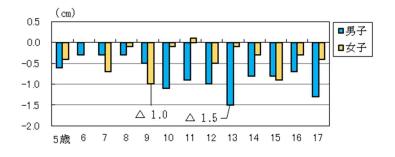
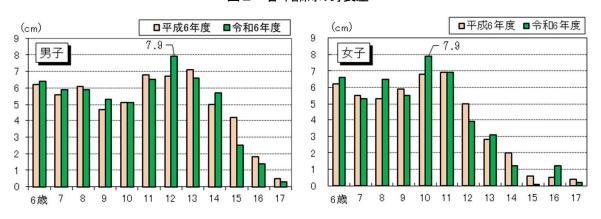
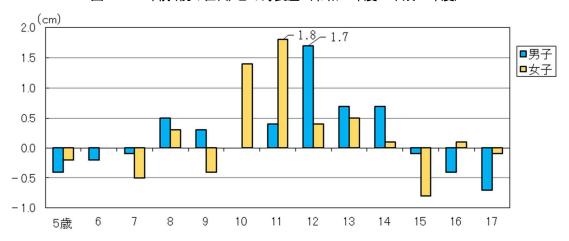


図2 各年齢間の身長差



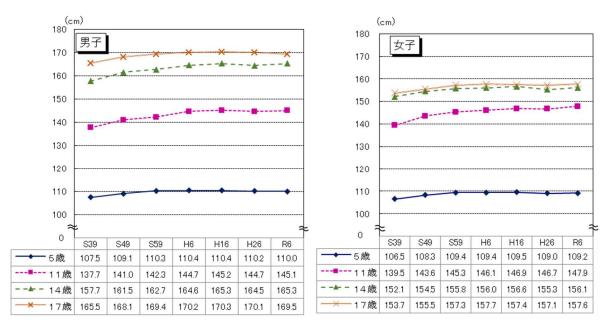
(注) 図中の6歳は(6歳−5歳)であり、7歳は(7歳−6歳)となっている。以下の各図においても同じ。

図3 30年前(親の世代)との身長差(令和6年度-平成6年度)



各学校段階の最高学年の身長について、60年間の推移を10年ごとにみると、男子の最高値は5歳が平成6年度及び平成16年度、11歳が平成16年度、14歳が平成16年度及び令和6年度、17歳が平成16年度となっており、女子の最高値は5歳が平成16年度、11歳が令和6年度、14歳が平成16年度、17歳が平成6年度となっている。(図4)

図4 身長の平均値の推移(昭和39年度~令和6年度の10年間隔)



【体 重 (平均値)】

前年度との比較: 男子は14,16歳で、女子は8,11,16歳で上回っている。(表2)

全国平均との比較: 男子は14~15歳、女子は6,8,11,13~14,16歳で上回っている。(表2、図5)

各年齢間の体重差: 男子は11~12歳の間が5.8 kg、女子は10~11歳の間が5.6 kgと最も大きくなっている。

(図6)

30 年前(親の世代)の平成6年度との比較: 男子は5~6,13,16~17 歳を除いた全ての年齢で、女子は8,10~11,13 歳で親の世代の値を上回っており、特に男子の12歳で1.1kg、女子の11歳で1.0kgと最も増加している。(表2、図7)

表 2 年齢別体重の平均値

(kg)

				男		子					女		子		
区	分		令和	06年度			平成6	年度		令和	116年度			平成6	年度
)J [香川県		全 国		順位	香川県		香川県		全 国		順位	香川県	
		Α	対前年度差	В	A-B	ルタルエ	С	A-C	Α	対前年度差	В	A-B	/ 以	С	A-C
幼稚園	5歳	18.8	△ 0.5	19.0	△ 0.2	38	19.3	△ 0.5	18.7	△ 0.2	18.7	0.0	19	18.9	△ 0.2
	6歳	21.3	△ 0.3	21.4	△ 0.1	26	21.6	△ 0.3	21.1	△ 0.1	21.0	0.1	14	21.3	△ 0.2
	7歳	24.1	△ 0.6	24.2	△ 0.1	27	23.9	0.2	23.3	△ 0.6	23.7	△ 0.4	41	23.9	△ 0.6
小	8歳	27.5	△ 0.4	27.6	△ 0.1	30	27.2	0.3	27.1	0.6	26.9	0.2	16	27.0	0.1
学 校	9歳	31.2	△ 0.6	31.2	0.0	22	30.7	0.5	29.8	△ 1.1	30.5	△ 0.7	45	30.7	△ 0.9
	10歳	34.2	△ 1.3	35.2	△ 1.0	41	34.0	0.2	34.9	△ 0.4	35.0	△ 0.1	23	34.5	0.4
	11歳	39.1	△ 1.5	39.6	△ 0.5	34	38.3	0.8	40.5	0.4	40.1	0.4	15	39.5	1.0
中	12歳	44.9	△ 0.6	45.3	△ 0.4	33	43.8	1.1	44.3	△ 0.3	44.4	△ 0.1	26	44.8	△ 0.5
· 学 校	13歳	49.7	△ 0.8	50.5	△ 0.8	40	50.0	△ 0.3	47.9	△ 0.5	47.5	0.4	16	47.8	0.1
校	14歳	55.4	0.9	55.0	0.4	17	55.3	0.1	49.8	△ 0.1	49.6	0.2	23	50.7	△ 0.9
高	15歳	59.6	0.0	59.0	0.6	15	59.3	0.3	50.7	△ 1.6	51.1	△ 0.4	37	52.8	△ 2.1
高等学	16歳	60.0	0.1	60.5	△ 0.5	34	60.9	△ 0.9	52.1	0.1	52.0	0.1	22	53.9	△ 1.8
校	17歳	61.9	△ 0.7	62.2	△ 0.3	33	63.3	△ 1.4	52.1	0.0	52.5	△ 0.4	35	53.3	△ 1.2

(注) は、全国平均を上回るものを示す。

図5 体重の全国平均値との差

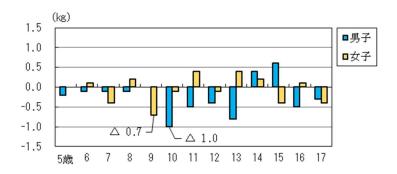
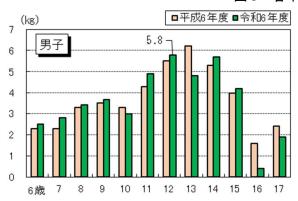


図6 各年齢間の体重差



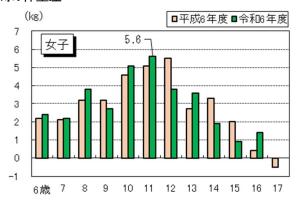
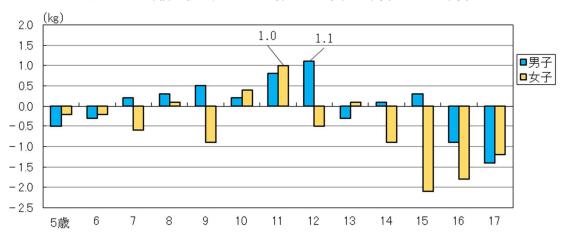
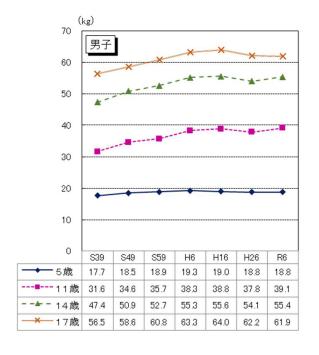


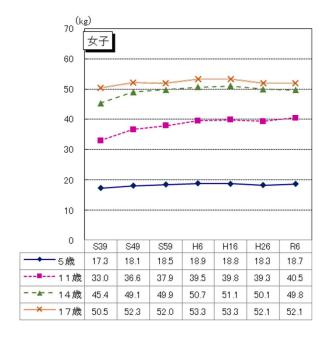
図7 30年前(親の世代)との体重差(令和6年度-平成6年度)



各学校段階の最高学年の体重について、60年間の推移を10年ごとにみると、男子の最高値は5歳が平成6年度、11歳が令和6年度、14,17歳が平成16年度となっており、女子の最高値は5歳が平成6年度、11歳が令和6年度、14歳が平成6年度及び平成16年度となっている。(図8)

図8 体重の平均値の推移(昭和39年度~令和6年度の10年間隔)





【肥満傾向児の出現率】

前年度との比較: 男子は5,8,13~14歳で、女子は6,8,11~12,14歳で上回っている。

全国平均との比較: 男子は6,8~9,13~15歳、女子は6,8~9,11~14歳で上回っている。(表3)

各年齢別の出現率: 男子が15歳で14.51%、女子が12歳で11.55%と最も高くなっている。(表3、図9)

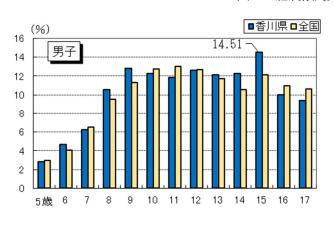
表3 肥満傾向児の出現率

(%),(ポイント)

				計				9	子				女	子		
区	分	香川県 A	対前年度差	全 国 B	A-B	順位	香川県 A	対前年度差	全 国 B	A-B	順位	香川県 A	対前年度差	全 B	A-B	順位
幼稚園	5歳	2.82	△ 0.17	3.04	△ 0.22	30	2.82	0.09	2.94	△ 0.12	24	2.82	△ 0.45	3.14	△ 0.32	32
	6歳	5.14	△ 0.17	4.27	0.87	13	4.69	△ 0.91	4.07	0.62	19	5.63	0.62	4.47	1.16	16
	7歳	6.14	△ 3.03	6.28	△ 0.14	29	6.24	△ 3.81	6.52	△ 0.28	30	6.03	△ 2.20	6.03	0.00	28
小	8歳	9.98	0.54	8.70	1.28	17	10.53	0.35	9.51	1.02	20	9.38	0.70	7.86	1.52	14
学 校	9歳	11.46	△ 0.72	10.22	1.24	15	12.81	△ 0.52	11.30	1.51	17	10.04	△ 0.93	9.08	0.96	17
	10歳	10.29	△ 1.96	10.96	△ 0.67	35	12.26	△ 1.12	12.73	△ 0.47	29	8.24	△ 2.84	9.10	△ 0.86	37
	11歳	11.57	△ 0.78	11.55	0.02	27	11.88	△ 2.24	13.00	△ 1.12	33	11.26	0.78	10.02	1.24	23
中	12歳	12.08	0.97	11.17	0.91	18	12.59	△ 0.22	12.68	△ 0.09	27	11.55	2.27	9.60	1.95	15
学校	13歳	11.06	△ 0.38	10.08	0.98	17	12.11	0.28	11.69	0.42	23	9.93	△ 1.09	8.38	1.55	16
仪	14歳	10.07	1.68	9.07	1.00	17	12.27	2.46	10.58	1.69	12	7.77	0.87	7.49	0.28	27
高	15歳	10.88	△ 2.70	10.24	0.64	21	14.51	△ 1.15	12.13	2.38	15	7.03	△ 4.36	8.28	△ 1.25	35
高等学校	16歳	8.11	△ 1.16	8.90	△ 0.79	36	10.02	△ 1.61	10.94	△ 0.92	30	6.10	△ 0.77	6.77	△ 0.67	36
校	17歳	7.53	△ 2.81	9.16	△ 1.63	39	9.41	△ 2.72	10.63	△ 1.22	34	5.63	△ 2.98	7.64	△ 2.01	40

- (注) 1 肥満傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上の者である。
 - 2 肥満度=(実測体重-身長別標準体重)/身長別標準体重 ×100(%)
 - は、全国平均を上回るものを示す。

図9 肥満傾向児の年齢別出現率



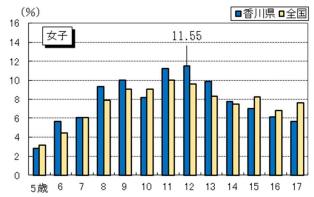
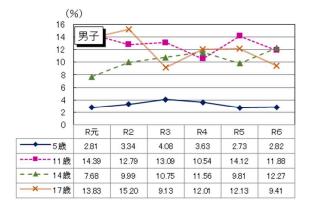
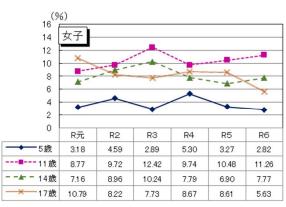


図10 肥満傾向児の出現率の推移





【痩身傾向児の出現率】

前年度との比較: 男子は5~6,10~12,14,17歳で、女子は5,7~10,14~15,17歳で上回っている。

全国平均との比較: 男子は5~6歳で、女子は7,9歳で上回っている。(表4)

各年齢別の出現率: 男子は11歳で3.17%、女子は15歳で3.39%と最も高くなっている。(表4、図11)

表 4 痩身傾向児の出現率

(%),(ポイント)

				計				男	子				\$	子		
区	分	香川県 A		全 国 B	A-B	順位	香川県 A	** / * *	全国	A D	順位	香川県 A	** / **	全 B	A-B	- 順位
幼稚園	5歳	0.42	対前年度差 0.06	0.26	0.16	9	0.76	対前年度差 0.06	0.24	A-B 0.52	5	0.09	対前年度差 0.09	0.28	A-B △ 0.19	31
	6歳	0.57	△ 0.06	0.49	0.08	19	0.96	0.21	0.42	0.54	3	0.14	△ 0.38	0.56	△ 0.42	42
	7歳	0.84	0.44	0.59	0.25	9	_	△ 0.32	0.62	△ 0.62	45	1.72	1.22	0.57	1.15	1
/]\	8歳	0.40	△ 0.59	1.17	△ 0.77	45	-	△ 1.54	1.06	△ 1.06	47	0.83	0.40	1.30	△ 0.47	33
学 校	9歳	1.88	0.14	2.11	△ 0.23	21	1.11	△ 0.30	1.90	△ 0.79	37	2.69	0.60	2.33	0.36	10
	10歳	1.88	0.45	2.94	△ 1.06	43	2.09	0.20	2.90	△ 0.81	37	1.67	0.72	2.98	△ 1.31	45
	11歳	2.09	0.08	3.17	△ 1.08	45	3.17	0.85	3.47	△ 0.30	28	0.98	△ 0.71	2.86	△ 1.88	47
_	12歳	3.10	0.07	4.01	△ 0.91	38	3.00	0.68	3.81	△ 0.81	33	3.20	△ 0.59	4.22	△ 1.02	35
中 学 校	13歳	1.93	△ 0.46	3.36	△ 1.43	44	1.43	△ 0.73	3.17	△ 1.74	44	2.48	△ 0.14	3.56	△ 1.08	40
校	14歳	2.22	0.86	3.33	△ 1.11	42	1.34	0.07	3.09	△ 1.75	47	3.15	1.70	3.58	△ 0.43	27
高	15歳	2.20	△ 0.39	3.67	△ 1.47	46	1.08	△ 1.66	3.88	△ 2.80	47	3.39	0.95	3.46	△ 0.07	19
高等学校	16歳	1.37	△ 1.26	3.28	△ 1.91	46	1.28	△ 2.04	3.67	△ 2.39	46	1.45	△ 0.47	2.87	△ 1.42	43
校	17歳	2.40	0.50	2.89	△ 0.49	30	2.74	0.53	3.43	△ 0.69	28	2.05	0.45	2.33	△ 0.28	27

- (注) 1 痩身傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が-20%以下の者である。
 - 2 肥満度=(実測体重-身長別標準体重)/身長別標準体重 ×100(%)
 - 3 「一」については、該当者がいない場合である。
 - は、全国平均を上回るものを示す。

図11 痩身傾向児の年齢別出現率

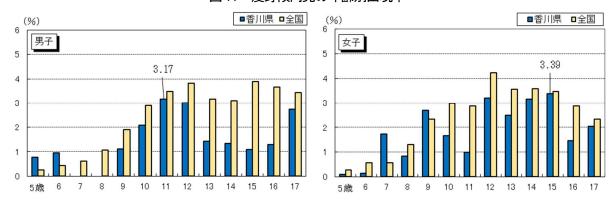
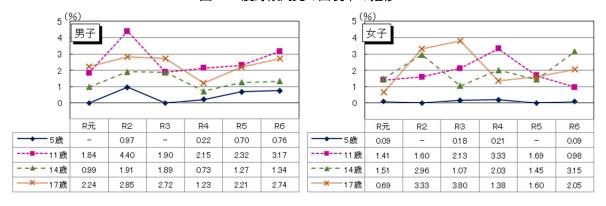


図12 痩身傾向児の出現率の推移



■ 健康状態調査

【主な疾病・異常被患率】

各年齢別の主な疾病・異常被患率をみると、「裸眼視力 1.0 未満」は、年齢が進むにつれて被患率がおおむね高くなる傾向がある。(表 5)

表5 疾病・異常の被患率

(%)

			裸眼	視力				耳鼻咽頭			歯・口腔					(/0)
						眼の				む	し歯(う歯	j)	アトピ		蛋白	
区	分	計	1.0未満 0.7以上	0.7未満 0.3以上	0.3未満	疾病・異常	耳疾患	鼻· 副鼻腔 疾患	口 腔 咽喉患 異常	羋	処 置 完了者	未処置 歯の ある者	一性 皮膚炎	心電図 異常	強出の者	ぜん息
幼稚園	5 歳	Х	Х	Х	Х	0.5	1.3	2.1	0.2	28.0	11.6	16.4	1.6		0.7	1.9
	十 十	35.9	11.5	13.8	10.7	3.9	6.5	10.8	0.4	34.4	18.2	16.2	4.2	5.8	0.9	3.4
	6歳	22.4	12.7	8.2	1.5	3.8	8.7	10.8	0.5	29.8	11.7	18.1	5.4	5.8	0.5	3.9
小	7	26.9	11.3	11.4	4.3	3.7	7.9	10.6	0.4	35.6	16.9	18.8	3.6		0.3	3.8
学	8	34.0	12.6	14.0	7.4	3.6	6.7	10.2	0.3	40.5	21.4	19.2	4.2		0.6	2.8
校	9	37.2	11.3	15.0	11.0	3.8	5.7	11.5	0.4	39.8	23.7	16.1	3.9		0.3	3.6
	10	45.4	10.6	16.0	18.8	4.2	5.5	11.4	0.5	33.0	18.5	14.5	4.4		1.3	3.3
	11	47.7	10.5	17.4	19.8	4.4	4.8	10.3	0.4	27.8	16.6	11.2	4.0		2.2	3.2
	計	56.1	9.8	15.1	31.2	2.5	5.1	7.0	0.1	29.4	20.6	8.8	3.1	4.8	2.0	1.8
中 学 校	12歳	62.7	Х	Х	Х	2.5	5.4	8.6	0.1	25.6	17.9	7.8	3.2	4.8	1.8	2.1
校	13	61.1	9.1	15.2	36.8	2.6	4.8	6.8	0.1	29.4	20.9	8.5	2.9		2.0	1.9
	14	Х	Х	Х	Х	2.5	5.1	5.7	0.0	33.0	23.0	10.0	3.3		2.1	1.3
	(==+	73.1	7.0	12.1	54.0	3.8	3.6	7.7	0.0	34.3	25.0	9.3	2.9	4.8	0.8	1.8
高等学校	15 歳	73.3	7.7	14.4	51.2	3.5	4.2	6.9	0.1	30.9	24.2	6.8	2.8	4.8	1.0	1.6
学 校	16	71.5	6.0	12.5	53.1	3.9	3.4	7.1	-	34.1	24.3	9.9	3.2		0.8	1.9
	17	74.4	7.2	9.4	57.8	4.2	3.2	9.1	0.1	38.1	26.6	11.5	2.6		0.7	1.8

⁽注) 1 この表は、疾病・異常該当者(疾病・異常に該当する旨健康診断票に記載のあった者)の割合の推定値を示したものである。

² 心電図異常については、6歳、12歳、15歳のみ実施している。

^{3 「…」}については、調査対象とならなかった場合である。

^{4 「}X」は、疾病・異常被患率等の標準誤差が5以上、受検者が100人(5歳は50人)未満、回答校が1校以下または疾病・異常被患率が100.0%のため 統計数値を公表しない。

⁵ 四捨五入の関係で、計と内訳が一致しない場合がある。

【学校種別疾病・異常被患率】

小学生、中学校、高等学校で「裸眼視力 1.0 未満」が最も高くなっており、幼稚園では「むし歯(う歯)」が最も高くなっている。(表6)

表6	学校種別疾病:	異党の独出家
77 U		芸市の拠忠学

順位	幼稚園		小 学 校		中 学 校		高 等 学 校	
順位	区 分	%	区 分	%	区分	%	区 分	%
1	むし歯(う歯)	28.0	裸眼視力1.0未満	35.9	裸眼視力1.0未満	56.1	裸眼視力1.0未満	73.1
2	歯列·咬合	5.7	むし歯(う歯)	34.4	むし歯(う歯)	29.4	むし歯(う歯)	34.3
3	歯・口腔(その他)	3.7	鼻·副鼻腔疾患	10.8	歯垢の状態	7.5	鼻·副鼻腔疾患	7.7
4	鼻・副鼻腔疾患	2.1	歯・口腔(その他)	6.6	歯肉の状態	7.2	心電図異常	4.8
5	ぜん息	1.9	耳疾患	6.5	鼻・副鼻腔疾患	7.0	歯垢の状態	4.7

(注)1「むし歯(う歯)」は、処置完了者と未処置歯のある者の合計割合

2 幼稚園の「裸眼視力1.0未満」の者の割合(計)は非公表 [8ページの表 5 欄外の(注)4参照]

◎ むし歯 (う歯)

むし歯(う歯)のある者の割合は、幼稚園が28.0%、小学校が34.4%、中学校が29.4%、高等学校が34.3% となっているが、前年度と比較すると全ての学校種で低下している。(表7)

年齢別にみると、8歳が40.5%と最も高く、次いで9歳の39.8%、17歳の38.1%となっている。(表5、図13)

むし歯(う歯)のある者の割合の推移をみると、全ての学校種でおおむね低下傾向にある。(図14)

◎ 歯垢の状態・歯肉の状態

歯垢の状態(歯に相当の付着がある)の割合は、幼稚園、小学校、高等学校では、前年度より低下しているが、中学校で上昇している。歯肉の状態(専門医による診断が必要)の割合は、幼稚園、小学校で低下しているが、中学校、高等学校で上昇している。(表7、図15、図16)

図13 むし歯(う歯)のある者の割合

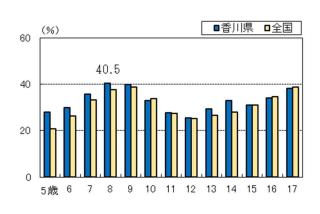


図14 むし歯(う歯)のある者の割合の推移

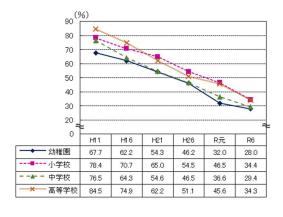
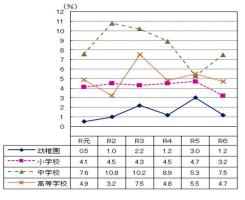


図 15 歯垢の状態(歯に相当の付着がある)の割合の推移

図16 歯肉の状態(専門医による診断が必要)の割合の推移



RЗ 0.4 0.1 2.7 2.0 2.6 2.6 2.3 1.9 9.5 7.5 5.1 7.6 7.2 高等学校 5.6 4.2 4.7 3.1 3.9 4.1

◎ 裸眼視力1.0未満の者

裸眼視力 1.0 未満の者の割合は、小学校が 35.9%、中学校が 56.1%、高等学校は 73.1%となっており、前年度より中学校、高等学校で上昇している。(表 7)

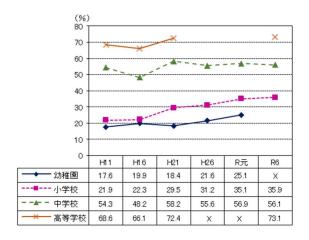
年齢別にみると、17歳で74.4%と最も高くなっている。(表5、図17)

図17 裸眼視力1.0未満の者の割合

(%)
■香川県 ■全国

70
60
50
40
30
20
10
5歳 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17

図18 裸眼視力1.0未満の者の割合の推移



◎ 鼻・副鼻腔疾患

鼻・副鼻腔疾患の者の割合は、幼稚園が 2.1%、小学校が 10.8%、中学校が 7.0%、高等学校が 7.7% となっている。年齢別にみると 9歳が 11.5% と最も高くなっている。前年度と比較すると、高等学校で上昇している。(表 5、表 7、図 19)

◎ アトピー性皮膚炎

アトピー性皮膚炎の者の割合は、幼稚園が 1.6%、小学校が 4.2%、中学校が 3.1%、高等学校が 2.9% となっている。年齢別にみると 6歳が 5.4% と最も高くなっている。前年度と比較すると、幼稚園、小学校で上昇している。(表 5、表 7、図 20)

図19 鼻・副鼻腔疾患の者の割合

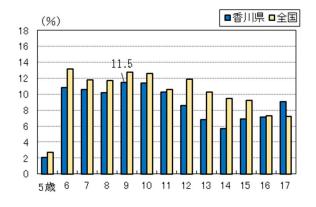
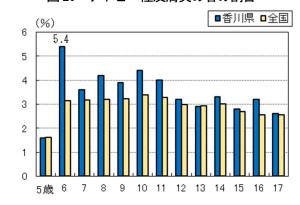


図20 アトピー性皮膚炎の者の割合



【主な疾病・異常被患率の全国比較】

主な疾病・異常被患率について全国平均と比較すると、

「むし歯(う歯)のある者」については、幼稚園、小学校、中学校で上回っている。

「裸眼視力1.0未満の者」については、高等学校で上回っている。

「歯垢の状態」については、全ての学校種で上回っている。

(いずれも表7、図21)

表7 主な疾病・異常被患率の全国比較

(%)

			裸眼視	眼の疾		鼻・副	む	し歯(う歯		歯·	口腔	アト			(/0)
	区分		大阪代 力1.0未 満の者	病・異常	耳疾患	鼻腔疾 患	計	処置 完了者	未処置 歯の ある者	歯垢の 状態	歯肉の 状態	ピー性皮膚炎	心電図 異常	蛋白検 出の者	ぜん息
	令和	県	24.5	2.2	6.3	3.3	36.3	15.0	21.3	1.0	0.1	1.2		1.1	0.9
	2年度	国	27.90	1.36	1.97	2.38	30.34	12.69	17.66	1.11	0.32	1.90		1.00	1.64
	3年度	県	29.4	2.3	4.5	4.2	27.1	8.8	18.2	2.2	0.4	1.2		1.7	0.8
/1	0 1/2	国	24.81	1.48	2.00	2.96	26.49	11.07	15.42	0.84	0.30	1.75		0.66	1.48
幼稚	4年度	県	31.2	2.4	6.0	6.6	26.4	10.2	16.2	1.2	-	0.3		1.2	1.1
園	. 1/2	国	24.95	1.27	2.36	3.03	24.93	10.05	14.88	1.06	0.28	1.62		0.87	1.11
	5年度	県	25.8	2.2	4.0	2.6	29.2	10.2	19.0	3.0	1.3	1.5		0.6	0.5
	- 1/2	玉	22.92	1.63	2.19	2.99	22.55	8.71	13.84	1.09	0.31	1.48		1.12	1.15
	6年度	県	Х	0.5	1.3	2.1	28.0	11.6	16.4	1.2	0.1	1.6		0.7	1.9
		玉	26.53	1.44	1.92	2.74	20.74	7.44	13.30	0.96	0.15	1.61		1.16	1.20
	令和	県	37.0	4.4	7.0	10.6	41.9	24.2	17.7	4.5	2.6	3.2	4.6	2.7	3.0
	2年度	国	37.52	4.78	6.14	11.02	40.21	20.58	19.62	3.45	2.17	3.18	2.52	0.93	3.31
	3年度	県	36.9	4.4	7.1	10.9	42.9	24.3	18.6	4.3	2.7	2.3	4.8	1.0	2.6
/J\		国	36.87	5.13	6.76	11.87	39.04	20.62	18.42	3.40	1.97	3.20	2.50	0.87	3.27
学校	4年度	県	36.7	4.7	6.8	13.1	40.8	21.2	19.6	4.5	2.6	2.2	4.6	1.0	2.2
校		国	37.88	5.28	6.60	11.44	37.02	19.32	17.70	3.15	1.80	3.14	2.55	0.98	2.85
	5年度	県	38.1	4.2	6.5	13.5	38.0	17.8	20.2	4.7	2.3	3.7	5.0	0.5	2.9
		国	37.79	5.32	6.28	12.38	34.81	17.49	17.32	3.12	1.73	3.25	2.44	0.84	2.87
	6年度	県	35.9	3.9	6.5	10.8	34.4	18.2	16.2	3.2	1.9	4.2	5.8	0.9	3.4
		国	36.84	5.54	6.28	12.10	32.89	16.38	16.51	3.16	1.79	3.24	2.59	0.96	2.87
	令和	県	59.2 58.29	3.0	4.2	5.2	37.7	25.1	12.6	10.8	11.1	2.8	3.9	4.0	2.0 2.59
	2年度	国		4.66	5.01 4.8	10.21	32.16	18.75	13.40	4.64	3.91 9.5	2.86	3.33	3.25	1.9
	3年度	県国	60.4 60.66	3.7 4.84	4.89	10.06	30.38	20.4 18.04	12.9 12.33	10.2 4.61	9.5 4.14	2.95	4.5 3.07	2.3 2.80	2.31
中		県	63.2	4.04	6.1	8.0	32.0	21.3	10.7	8.9	7.5	3.7	5.2	2.60	2.31
学 校	4年度	玉	61.23	4.95	4.76	10.70	28.24	16.80	11.43	3.97	3.45	2.96	3.15	2.90	2.23
校		県	54.0	3.4	5.2	8.0	34.8	22.4	12.4	5.3	5.1	3.2	4.7	2.6	2.23
	5年度	玉	60.93	5.08	4.87	10.48	27.95	16.90	11.05	4.11	3.65	2.99	3.21	2.80	2.00
		県	56.1	2.5	5.1	7.0	29.4	20.6	8.8	7.5	7.2	3.1	4.8	2.00	1.8
	6年度	国	60.61	4.80	4.78	10.55	26.50	16.12	10.38	3.96	3.36	2.98	3.01	2.83	1.89
	令和	I 県	X	5.8	4.9	8.3	40.5	29.2	11.3	3.2	4.1	3.3	6.0	1.2	1.5
	2年度	国	63.17	3.56	2.47	6.88	41.66	25.04	16.62	4.58	4.16	2.44	3.30	3.19	1.75
		県	70.6	5.3	3.2	7.5	39.4		12.9			2.2	5.2		1.3
_	3年度	玉	70.81	3.35	2.51	8.81	39.77	24.12	15.65	4.18	4.04	2.58	3.16	2.80	1.70
高等		県	72.9	3.8	3.4	5.0	45.3	32.5	12.8		4.7	3.6	5.4	0.8	1.6
等学校	4年度	国	71.56	3.58	2.25	8.51	38.30	23.79	14.51	4.23	3.88	2.68	3.03	2.83	1.71
校	- - -	県	69.0	4.2	3.7	4.8	35.9	26.0	9.9	5.5	3.1	3.4	5.5	0.5	1.7
	5年度	玉	67.80	3.57	2.63	7.60	36.38	22.45	13.93		3.67	2.39	3.08	2.52	1.50
	0 = =	県	73.1	3.8	3.6	7.7	34.3	25.0	9.3	4.7	3.9	2.9	4.8	0.8	1.8
	6年度	玉	71.06	3.32	2.62		34.70		13.16	3.87	3.54	2.60	3.09		

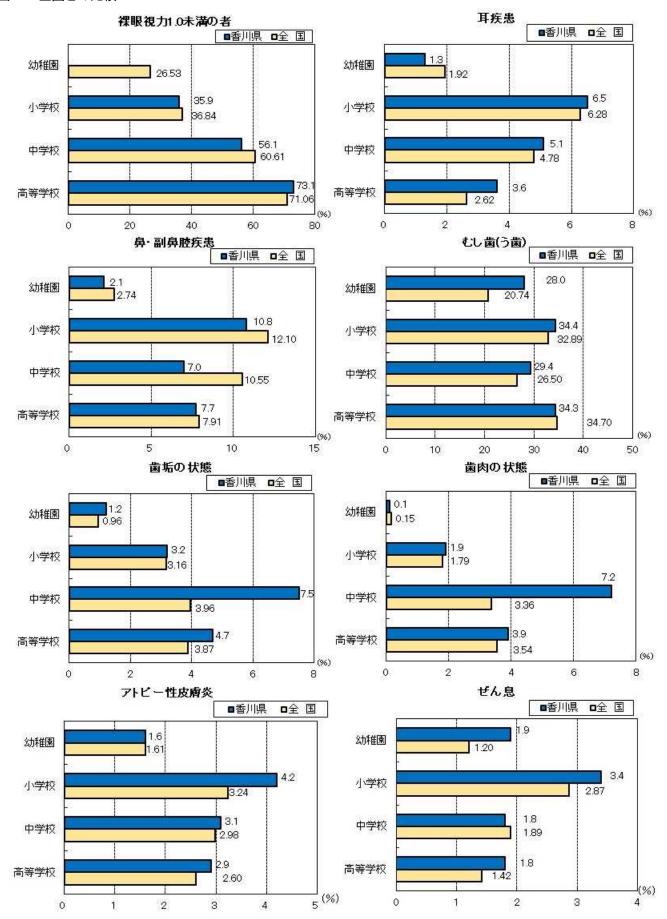
⁽注)1 この表は、疾病・異常該当者(疾病・異常に該当する旨健康診断票に記載のあった者)の割合の推定値を示したものである。

² 心電図異常については、6歳,12歳,15歳のみ実施している。3 「…」については、調査対象とならなかった場合である。「一」については、該当者がいない場合である。

^{4 「}X」は、疾病・異常被患率等の標準誤差が5以上、受検者数が100人(5歳は50人)未満、回答校が1校以下または疾病・異常被患率が100.0%のため 統計数値を公表しない。

⁵ 四捨五入の関係で、計と内訳が一致しない場合がある。

図21 全国との比較



【肥満・痩身傾向児の算出方法について】

平成17年度まで、性別・年齢別に身長別平均体重を求め、その平均体重の120%以上の体重の者を肥満傾向児、80%以下の者を痩身傾向児としていたが、平成18年度から、性別、年齢別、身長別標準体重から肥満度(過体重度)を算出し、肥満度が20%以上の者を肥満傾向児、-20%以下の者を痩身傾向児としている。肥満度の求め方は次のとおりである。

肥満度(過体重度)

= 〔実測体重(kg) - 身長別標準体重(kg) 〕/身長別標準体重(kg) ×100(%)

% 身長別標準体重 (kg) = a × 実測身長 (cm) - b

	係数	男	3	\$	Ţ
	年齢 へ	a	b	a	b
幼稚園	5	0.386	23.699	0.377	22.750
_	6	0.461	32.382	0.458	32.079
	7	0.513	38.878	0.508	38.367
.1. 24 44.	8	0.592	48.804	0.561	45.006
小学校 一	9	0.687	61.390	0.652	56.992
	10	0.752	70.461	0.730	68.091
	11	0.782	75.106	0.803	78.846
	12	0.783	75.642	0.796	76.934
中学校 一	13	0.815	81.348	0.655	54.234
	14	0.832	83.695	0.594	43.264
	15	0.766	70.989	0.560	37.002
高等学校 🔫	16	0.656	51.822	0.578	39.057
	17	0.672	53.642	0.598	42.339

出典:公益財団法人日本学校保健会「児童生徒の健康診断マニュアル(平成27年度改訂版)」

(参考) 令和6年度調査の平均身長(全国)の場合の標準体重

		男			女	
年齢	平均身長 (cm)	平均身長時 の標準体重 (kg)	平均体重 (kg)	平均身長 (cm)	平均身長時 の標準体重 (kg)	平均体重 (kg)
5	110.6	19.0	19.0	109.6	18.6	18.7
6	116.7	21.4	21.4	115.8	21.0	21.0
7	122.6	24.0	24.2	121.8	23.5	23.7
8	128.5	27.3	27.6	127.7	26.6	26.9
9	134.0	30.7	31.2	134.1	30.4	30.5
10	139.7	34.6	35.2	141.1	34.9	35.0
11	146.0	39.1	39.6	147.8	39.8	40.1
12	154.0	44.9	45.3	152.3	44.3	44.4
13	161.1	49.9	50.5	155.0	47.3	47.5
14	166.1	54.5	55.0	156.4	49.6	49.6
15	168.6	58.2	59.0	157.1	51.0	51.1
16	169.9	59.6	60.5	157.7	52.1	52.0
17	170.8	61.1	62.2	158.0	52.1	52.5

※令和2年度から令和5年度の調査結果については、新型コロナウイルス感染症の影響により測定時期を異にしたデータが含まれた結果であることから、今回の調査結果と比較することはできない。